

ガイドブック

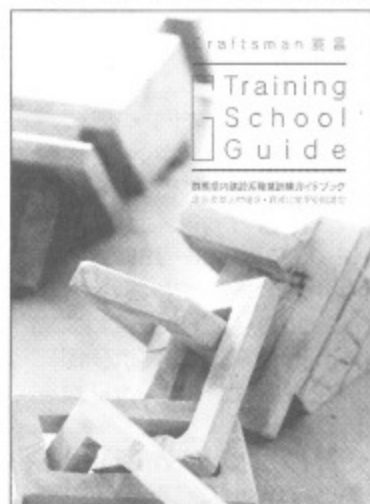
訓練校横断的に紹介

若手の入職促進を後押し

建設産業人材確保・育成に関する協議会（青柳剛会長）は、県内の建設系職業訓練校を紹介するガイドブックを作成し、青柳会長によると、建設系職業訓練校を横断的に紹介するガイドブックは「おそらく全国初」という。就業者の高齢化が課題となっている建設産業への若手入職促進を後押しする取り組みだ。



ガイドブックを手にする青柳会長



作成したガイドブック

ガイドブックには県内10の建設系職業訓練校を掲載。写真を交えながら訓練方針や特色、入校を考えている人へのメッセージなどを盛り込んだ。実際に訓練校で学ぶ訓練生や講師が登場し、真摯に学ぶ姿、目的、講

で記者発表が行われ、青柳会長は「人材確保育成はいきなり答えは出ない。じわじわと広報戦略を打ち、（訓練校が）どういった雰囲気なのか伝えることが大事。一人でも多くの人が業界に入ってくることを期待する」と作成の狙いを説明。ビジュアル的に分かりやすい冊子にした。しっかりした動機付けを持って業

界に入れば定着率も高くなる。ものづくりのやりがいや表現できたと思えることが大事。一人でも多くの人が業界に入ってくることを期待する」

ガイドブックは3500部を作成。今月中に県内全高校や各職業訓練校、関係団体などに配布する。

掲載校は◇渋川地区高等職業訓練校（吉岡町）◇太田地区高等職業訓練校（太田市）◇前橋高等職業訓練校（前橋市）◇西吾妻地区高等職業訓練校（長野原町）◇利根沼田地区高等職業訓練校（沼田市）◇高崎建設高等職業訓練校（高崎市）◇館林地区高等職業訓練校（館林市）◇桐生高等技能専門学校（桐生市）◇伊勢崎佐波高等職業訓練校（伊勢崎市）◇利根沼田テクノアカデミー（沼田市）の10校。

4日に群馬建設会館

群馬県内 職業訓練校を網羅

入職促進へガイドブック

建設産業人材
確保・育成協

群馬県内の建設業団体や建設系高校、職業訓練校、県などで構成する「建設産業人材確保・育成に関する協議会」（会長・青柳剛群馬県建設業協会会長）は4日、「群馬県内建設系職業訓練ガイドブック」を発表した。建設系のコースを持つ県内の職業訓練校10校を網羅したガイドブックで、このような取り組みは「おそらく国内初ではないか」（青柳会長）としている。今後、建設系学科の有無を問わず県内高校などに配布する。

＝関連5面



ガイドブックを手にする青柳会長



在校生の声を紹介

同ガイドブックは、24校のフルカラー刷りで、3500部を発行。写真を多用しながら各校の特色や訓練コースを紹介している。作成費はすべて、建設産業担い手確保・育成

成コンソーシアム（事務局・建設業振興基金）からの助成金約100万円を充てた。青柳会長は、「技能労働者は訓練校などの地域のネットワークの中で養成していくものだ。その原点がしっかりとっていないと人材確保・育成が始まらない」と訓練校の重要性を指摘。同ガイドブックで訓練生や講師の声を取り上げることによって「業界に入る動機付けがはっきりし、定着してくれるのではないかと期待を寄せる。

高校のほか、職業訓練校を含めた協議会構成機関、県建

設産業団体連合会構成団体、群馬労働局職業対策課、群馬建設12支部などに配布する。作成の背景には、2014年度の予備調査「群馬県内建設系職業訓練に関する基礎調

査」で、各職業訓練校ともに伝統や特色があるにもかかわらず、入校生の減少や運営費の捻出、指導員の確保などの課題を抱え、各校のPRが必要と実感したことがある。掲載訓練校は次のとおり。

- ▽渋川地区高等職業訓練校（吉岡町）
- ▽太田地区高等職業訓練校（太田市）
- ▽前橋高等職業訓練校（前橋市）
- ▽西吾妻地区高等職業訓練校（長野原町）
- ▽利根沼田地区高等職業訓練校（沼田市）
- ▽高崎建設高等職業訓練校（高崎市）
- ▽館林地区高等職業訓練校（館林市）
- ▽桐生高等技能専門学校（桐生市）
- ▽伊勢崎佐波高等職業訓練校（伊勢崎市）
- ▽利根沼田テクノアカデミー（沼田市）